

令和8年度
(2026年度)



川島小学校だより

輝く かわしまっ子

9月

1日 第29号

文責：小西 貴仁

今日(9月1日)から、まちにまった2学期のスタート!

今年の夏休みは、連日のように熱中症警戒アラートが発表され、毎日暑い日が続いていました。そのような中、7月21日(火)には、市水泳能力検定会、7月30日(木)には、市イングリッシュキャンプ、8月4日(火)には、県水泳能力検定会等が開催され、川島小学校の5、6年生も参加し、他校の人との交流や練習の成果を発揮することができました。

7月18日からの45日間の長い夏休みも終わり、今日から2学期が始まりました。本日、明るい笑顔と元気なあいさつをするみなさんに会えたので、校長先生は、本当にうれしかったです。

本日9月1日(火)は、「防災の日」でもあります。今年の夏休み中にも大地震や大雨による災害が発生しました。この機会に、みなさんも身の回りの自然災害について一度ご家族の人と一緒に考えてみてください。

さて、みなさんは、今年の夏休みには、いろんな楽しい思い出をつくることができましたか。

ここで、夏休み前の終業式にみなさんにお話しした、校長先生が夏休み中に読んだ本を紹介します。

『聴導犬シンディ誕生物語(発行所：小学館)』

この本は、耳の不自由な人のためにお仕事をしている犬のお話です。校長先生がこの本を最初買って読んだのは、今から30年ほど前に、鴨島小学校で6年生の担任をしていた頃です。昨年、川島小学校にゲストティーチャーとして来ていただいた久保修さんや盲導犬ユーザーの鶴野(大西)克子さんと共に、担任していた子どもたちと「心のバリアフリーについての学習」をしていたことがきっかけでした。

「聴導犬は、耳の不自由な人のために、電話やチャイムの音を知らせたり、朝起こしたりします。この本で紹介されている「シンディ」は、町中で保護された犬です。シンディが、聴導犬として訓練を受け、耳の不自由な人にとってのパートナーになるまでの成長の様子が写真と文でつづられています。私は、この本を読んで、「聴導犬の大切さ」はもちろんのこと、「シンディと聴導犬ユーザーとの強い絆(互いを大切に思い合う信頼関係)」に感動しました。

興味のある人は、ぜひ校長室まで借りに来てください。また、この本以外にも、「盲導犬グレフ誕生物語(発行所：小学館)」や、「最後のパートナー・盲導犬を引退した犬たち(発行所：幻冬舎)」もあります。

(※これからも機会があれば、学校だよりや朝会で本の紹介をしていきたいと思っています。みなさんも読んだ本を友達に紹介してね。)

2学期が始まると、たくさんの行事や学習活動があります。

2学期もみなさん一人ひとりが大切にされ、かがやきながら楽しい学校生活が送れるよう、元気にがんばりましょう。